

のり養殖通報 第4報

千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 令和元年10月11日発行

現在、多くの浜では台風19号に備えて対策を講じていることと思います。被害が軽微で終わることを祈念しています。本日は、10月2,3日に実施した東京湾水質調査で栄養塩が少ない状況でしたので、10月10日に実施した臨時の東京湾水質観測を速報で通知します。(※台風19号通過後は大きく変化する可能性が高いので留意ください。)

[育苗開始の海況条件]

(水温)23℃以下かつ降下傾向 (塩分)25psu以上 (pH)8.4以下 (栄養塩)窒素100µg/L以上, リン10µg/L以上

[観測結果]

- 水温 22.5~23.2℃。前回から約1℃低下。
- 塩分 平常値
- pH 8.4以下に低下。
- 栄養塩 栄養塩(表層)は増加し、多くの漁場で生育基準値を上回った。ただし、大貫沖では未だに低水準であった。
- 現状のまとめ 育苗を開始できる海況条件が整いつつあります。

表1 水質観測結果(10/10)

	水温(℃)	塩分	pH	窒素(µg/L)	リン(µg/L)
船橋	23.2	30.9	8.34	180	25
木更津(BC)	23.2	31.3	8.36	130	24
富津ベタ	22.8	32.4	8.23	199	30
1海ほ下	22.5	32.9	8.27	141	21
下洲	22.5	33.0	8.29	93	12
大貫沖(10)	22.5	33.5	8.31	29	2

[今後の留意点]

- 間近に迫っている台風19号に対して、養殖上の対策は前回報告(10/8)したとおりですが、高潮にも十分に注意していただき、出来る範囲で対策をお願いします。ただし、身の安全を第一に考えて行動してください。
- 海況は台風19号通過後に大きく変化する可能性があります。網の出庫は、特に漁場の低塩分化に注意してください。
※低塩分での干出は芽落ちする大きな要因になります。
- 栄養塩はまだ低水準の漁場もありますが、台風19号による海の攪拌や河川水の出水により増加するものと推測されます。